

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-074160

(43)Date of publication of application : 15.03.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G06F 17/30

G06F 17/40

(21)Application number : 2000-259374

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 24.08.2000

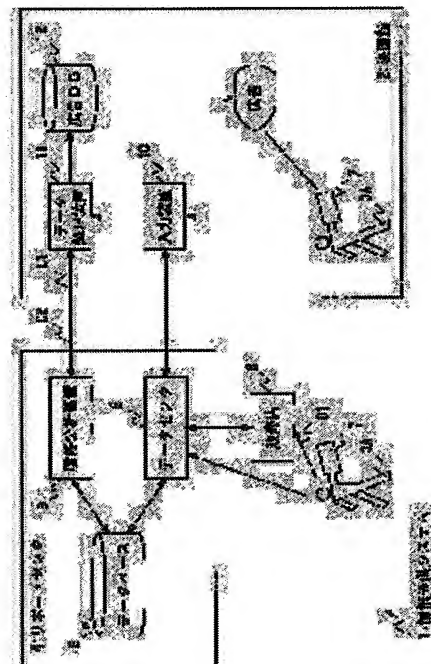
(72)Inventor : AKACHI MASAMITSU

(54) METHOD FOR PROVIDING INFORMATION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily and reliably provide information that is suitable to a user by applying an information providing method in the case of providing a commercial in a vanue, for instance, movie house, etc.

SOLUTION: The identification information of an individual is acquired form the card 7, etc., of the user 3A, the attribute of a group is decided by accessing a data base 5 with the identification information as reference, and information appropriate for the group is provided according ot the decision result D2.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 所定の情報提供場所に到来する複数のユーザーについて、個々のユーザーを特定する識別情報を基準にして所定のデータベースをアクセスし、前記複数のユーザーのそれぞれについて、嗜好を示す個人情報を取得する個人情報取得のステップと、
前記個人情報取得のステップにより取得した個人情報の統計処理により、前記複数のユーザーによる集団としての嗜好を示す属性情報を生成する属性情報取得のステップと、
前記属性情報により、前記集団に最も優位な情報を選択的に提供する情報提供のステップとを有することを特徴とする情報提供方法。

【請求項 2】 前記個人情報取得のステップは、
前記識別情報を取得する識別情報の取得ステップと、
前記識別情報の取得ステップで取得した前記識別情報を前記複数のユーザー分だけ蓄積して識別情報群により通知する識別情報の通知ステップと、
前記通知ステップの通知より前記データベースをアクセスするアクセスのステップとを有することを特徴とする請求項 1 に記載の情報提供方法。

【請求項 3】 前記個人情報取得のステップは、
前記ユーザーの保持するクレジットカードより前記識別情報を取得することを特徴とする請求項 1 に記載の情報提供方法。

【請求項 4】 前記情報提供のステップにより提供する情報が、コマーシャルであることを特徴とする請求項 1 に記載の情報提供方法。

【請求項 5】 前記個人情報取得のステップは、
前記ユーザーの保持する非接触の IC カードより前記識別情報を取得することを特徴とする請求項 1 に記載の情報提供方法。

【請求項 6】 前記情報提供のステップは、
前記属性情報を基準にして、所定の記憶手段をアクセスすることにより、
前記属性情報により、前記集団に最も優位な情報を選択的に提供することを特徴とする請求項 1 に記載の情報提供方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、情報提供方法に関し、例えば映画館等の会場において、コマーシャルを提供する場合に適用することができる。本発明は、ユーザーのカード等より個人の識別情報を取得し、この識別情報を基準にしたデータベースのアクセスにより集団の属性を判定し、この判定結果により集団に適した情報を提供することにより、例えば映画館等の施設において、ユーザーに適した情報を簡易かつ確実に提供することができるようにする。

【0002】

【従来の技術】 従来、不特定のユーザーが集合する施設である映画館においては、上映の合間にコマーシャルを上映するようになされており、このコマーシャルの内容を提供する映画の内容、映画館の所在地等に応じて選定することにより、ユーザーに適したコマーシャルを提供するようになっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところでこのような施設においては、日によっても、時間帯によっても、来館するユーザー層が異なることにより、従来の手法によるコマーシャルの提供方法によっては、必ずしもユーザーに適した情報を提供できない問題がある。

【0004】 この問題を解決する 1 つの方法として、例えば入場する観客に嗜好等を問い合わせて集計し、この集計結果により適宜、ユーザーに提供する情報を切り換えることが考えられる。しかしながらこのようにすると、集計等の処理が煩雑になる欠点がある。またこのような問い合わせに対して、観客が素直に回答しない場合も考えられることにより、集計結果が必ずしも正しくユーザーの嗜好等を反映していない場合も考えられる。

【0005】 本発明は以上の点を考慮してなされたもので、ユーザーに適した情報を簡易かつ確実に提供することができる情報提供方法を提案しようとするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】 かかる課題を解決するため請求項 1 の本発明においては、所定の情報提供場所に到来する複数のユーザーについて、個々のユーザーを特定する識別情報を基準にして所定のデータベースをアクセスし、複数のユーザーのそれぞれについて、嗜好を示す個人情報を取得する個人情報取得のステップと、この個人情報取得のステップにより取得した個人情報の統計処理により、複数のユーザーによる集団としての嗜好を示す属性情報を生成する属性情報取得のステップと、この属性情報により、集団に最も優位な情報を選択的に提供する情報提供のステップとを有するようにする。

【0007】 請求項 1 の構成によれば、所定の情報提供場所に到来する複数のユーザーについて、個々のユーザーを特定する識別情報を基準にして所定のデータベースをアクセスし、複数のユーザーのそれぞれについて、嗜好を示す個人情報を取得することにより、この情報提供場所に到来する個々のユーザーについて、簡易かつ確実に嗜好等を判定することができる。これにより個人情報取得のステップにより取得した個人情報の統計処理により、複数のユーザーによる集団としての嗜好を示す属性情報を生成する属性情報取得のステップと、この属性情報により、集団に最も優位な情報を選択的に提供する情報提供のステップとを有するようにすれば、このような集団に対して最も適したと考えられる情報を簡易かつ確実に選択して提供することができる。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、適宜図面を参照しながら本発明の実施の形態を詳述する。

【0009】(1) 第1の実施の形態

(1-1) 第1の実施の形態の構成

図1は、本発明の第1の実施の形態に係る情報提供システムを示すブロック図である。この情報提供システム1は、映画館2の入場者3の集団について、上映回毎に興味、嗜好等の属性をサポートセンタ4で判定して判定結果を映画館2に通知し、この通知に応じてコマーシャルによる情報を映画館2で上映する。

【0010】ここでサポートセンタ4は、販売店6におけるクレジットカード7の販売においてユーザー3Aから取得した情報等をデータベース5に保持し、映画館2からの問い合わせによりこのデータベース5をアクセスしてアクセス結果を処理することにより、集団の属性を判定して判定結果を映画館2に通知する。

【0011】すなわち販売店6は、ユーザー3Aの申し込みにより、ユーザー3Aを特定する識別コードであるカードIDを磁気ストライプによりクレジットカード7に記録してクレジットカード7を発行する。さらに販売店6は、このユーザー3Aによるクレジットカードの申し込み時、ユーザーの年齢、職業、性別、趣味、期講読雑誌、試聴する番組等の個人情報D1を取得し、クレジットカード7に記録したカードIDと共にサポートセンタ4に通知する。なお販売店6は、これらのカードID等の情報等を暗号化してサポートセンタ4に通知する。

【0012】また販売店6は、このようにして発行したクレジットカード7をユーザーが使用すると、クレジットカード7の使用をサポートセンタ4に通知する。なおこの実施の形態においては、このようにして取得した各種個人情報を映画館2における情報の提供に利用することにより、このような利用をユーザーに事前に承諾しておくことが考えられる。

【0013】サポートセンタ4において、データセンタ8は、販売店6、映画館2からのクレジットカード7の使用の通知により与信機関との間で料金清算処理を実行する。またデータセンタ8は、後述する嗜好分析装置9による処理に適するように、販売店6より通知される個人情報D1を数値化して各ユーザー毎にデータベース5に記録する。またデータセンタ8は、街頭等におけるアンケート調査等により取得した個人情報を、同様に処理してデータベース5の記録を更新する。さらに販売店6、映画館2からのクレジットカード7の使用の情報を同様に処理し、データベース5の記録を更新する。

【0014】これらの処理において、データセンタ8は、図2に示すように、映画館2、販売店6から通知されるカードIDに対応し、かつ個々のユーザーを特定する識別情報である個人IDを生成し、この個人IDによりユーザーを特定して販売店6等からの情報をデータベ

ース5に記録する。

【0015】データベース5は、図3に示すように、このようにしてデータセンタ8により記録される個人情報個人ID毎に保持する。なお、この図3に示す記録において、個人ID(7GaKA57/v5B+4cbABf)のレコードは、この個人IDのユーザーが車に関して新車に興味を持っており、そのうち輸入車には比較的兴趣を持っていないことを示すものである。また旅行に関しては、国内旅行及び海外旅行の双方に興味を持っており、特に海外旅行に著しく興味を持っていることを示すものである。これに対して続く個人IDのレコードにおいては、車に関しては中古車に興味があり、若干、輸入車にも興味を持っていることを示し、また旅行に関しては国内旅行には興味が無く、海外旅行に大いに興味を持っていることを示すものである。なおこのようなデータベース5の構築においては、クレジットカードの販売によるものに限らず、例えば各種会員証、プリペイドカード、商品の購入によりポイントを蓄積するポイントカード等による個人情報の収集によって構築することも可能である。

【0016】またデータベース5は、データセンタ8、嗜好分析装置9によるアクセスによってのみ保持した個人情報をデータセンタ8、嗜好分析装置9に出力し、これにより重要な個人情報を外部に秘匿しつつこの個人情報を更新し、さらには有意義に利用できるようになされている。

【0017】嗜好分析装置9は、上映回毎に映画館2より通知される顧客IDリストL1より個人IDを検出し、この個人IDを基準にして映画館2におけるデータベース5をアクセスする。さらに嗜好分析装置9は、このアクセス結果を統計処理し、これにより映画館2における上映回毎に、この入場者全体の集団としての嗜好を示す属性情報D2を検出し、この属性情報D2を映画館2に通知する。なおこの統計処理は、例えば図3について説明した項目毎の数値を平均値化して実行され、属性情報D2は、例えばこのようにして得られた平均値のうちの値の大きな数値と、対応する項目とにより構成される。

【0018】ここで顧客IDリストL1は、データベース5の記録との対応により映画館2の入場者を個々に特定するリストであり、図4に示すように、入場者3AA、3AB、3AC、……の保持するクレジットカード7のカードIDを例えばDES(Data Encryption Standard)により暗号化して問い合わせ用IDを生成した後、この問い合わせ用IDを順次配列して生成される。これにより嗜好分析装置9は、この顧客IDリストL1より問い合わせ用ID、カードIDを順次復号した後、図5に示すデータベース5への記録に対応する個人IDの一覧を検出し、この個人IDにより順次データベース5をアクセスする。これによりこの情報提供システム1

では、映画館2とサポートセンタ4とを結ぶ回線においては、カードID、個人IDを特定困難にして情報を伝送し、その分、システム全体のセキュリティを向上するようになされている。

【0019】映画館2において、入力装置10は、入場券の販売所に設置されたクレジットカード7の処理装置であり、ユーザー3が提示したクレジットカード7よりカードIDを取得する。さらにこのようにして取得したカードIDを、ユーザーが購入した入場券の購入金額、この入場券によりユーザーが試聴する映画のカテゴリ等の情報と共にデータセンタ8に通知する。さらに入力装置10は、このようにして取得したカードIDをデータ処理装置11に通知する。なお入力装置10においても、このようなカードID等の情報を暗号化してサポートセンタ4、データ処理装置11に通知する。

【0020】入力装置10は、このような入場券の発行の際に、クレジットカード以外の、例えば現金により決裁するユーザーも考えられることにより、このようなユーザーについては、嗜好分析装置9における判定に影響を与えないように、ダミーによるカードIDをデータ処理装置11に通知する。

【0021】データ処理装置11は、入力装置10より通知されるカードIDを上映回の直前で区切って集計し、これにより各上映回における入場者の各人を特定するリストを作成する。さらにデータ処理装置11は、このようにして作成したカードIDによるリストを図4について上述した問い合わせ用IDによる顧客IDリストL1に変換し、嗜好分析装置9に通知する。さらにデータ処理装置11は、この顧客IDリストL1の通知により嗜好分析装置9から通知される属性情報D2を受け、この属性情報D2の解析により広告データベース（広告DB）12をアクセスする。

【0022】ここで広告データベース12は、この映画館2で提供するコマーシャルのデータベースであり、あらゆる趣味、嗜好の観客にも対応可能に、種々のコマーシャルを蓄積して構成される。データ処理装置11は、属性情報D2により、該当する上映回の観客全体として、最も多くの観客が興味を示し、最も宣伝効果が高いと判断されるコマーシャルを広告データベース12より選択し、上映の間合いで上映する。なお広告データベース12は、各コマーシャル毎に、このようにサポートセンタ4から通知される属性情報D2に対応する属性情報を記録し、データ処理装置11は、この各コマーシャルの属性情報とサポートセンタ4から通知される属性情報D2とのマッチングを判定することにより、ユーザーに提供するコマーシャルを選択するようになされている。

【0023】さらにデータ処理装置11は、このようなコマーシャルの放映を記録に残し、一定の期間毎に、各コマーシャル毎の上映回数、上映対象の観客数を集計する。データ処理装置11は、この集計結果より、コマー

シャルの提供者との間で、広告放映料を決裁する。

【0024】（1-2）第1の実施の形態の動作以上の構成において、情報提供システム1では（図1）、販売店6におけるクレジットカード7の発行時、ユーザー3Aの趣味等の個人情報D1が収集される。また街頭アンケート等によっても個人情報が収集され、またクレジットカード7の使用によっても、興味のある商品等の個人情報が収集される。さらに映画館2からの通知によっても、好みの映画のジャンルである個人情報が取得され、これらの個人情報がデータセンタ8で処理され、クレジットカード7のカードIDに対応する個人ID（図2）によりデータベース5に蓄積される。これによりこの情報提供システム1では、クレジットカード7を使用する多くのユーザーについての個人情報が各個人毎にデータベース5に記録される（図3）。

【0025】この情報提供システム1では、このようにして個人情報を蓄積したデータベース5に対して、クレジットカード7により映画館2で入場券を購入すると、入力装置10によりクレジットカード7のカードIDが取得され、このカードIDはデータセンタ8に通知されて決裁の処理が実行される。またこのカードIDが、データ処理装置11に通知され、映画の上映を開始する直前まで、このようなユーザーのカードIDが順次蓄積される。

【0026】情報提供システム1では、このようにして蓄積したカードIDが個人IDに変換され、さらに問い合わせ用IDに変換されて顧客IDリストL1が生成され、この顧客IDリストL1のサポートセンタ4への通知により、各上映回毎に、映画館の入場者について、第3者に秘匿困難に、各個人IDが通知される。さらにこのようにして通知された個人IDによりデータベース5がアクセスされ、これにより映画館に現在入場しているユーザー3Aの各人について、順次、嗜好を示す個人情報が検出される。情報提供システム1では、このようにして検出される個人情報が嗜好分析装置9により統計処理され、これにより映画館2に入場したユーザー3Aの集団について、嗜好を示す属性情報D2が生成される。さらにこの属性情報D2が映画館2に通知され、この映画館2のデータ処理装置11による広告データベース12のアクセスにより、この集団に最も適していると判断されるコマーシャルが選択されてユーザー3Aに提供される。

【0027】これらによりこの情報提供システム1では、映画館2の入場者の個人情報を個々に検出し、この個人情報の統計処理結果に応じて選択的にコマーシャルによる情報をユーザーに提供するようになされ、従来に比して格段的にユーザーに適した情報を選択して提供することができるようになされている。

【0028】特に、この実施の形態のように、上映回毎に集計してコマーシャルを提供することにより、日にち

によって、時間帯によって、ユーザーの年齢層等が変化する場合でも、これらの変化に対応してコマーシャルを切り換えることができ、これにより宣伝効果の高いコマーシャルを提供することができる。またこのように統計処理された属性情報D2が映画館2に通知されてコマーシャルが選択されることにより、重要な個人情報の漏洩を防止することができる。

【0029】このようにして個人IDを通知して個人情報によりユーザーに適したコマーシャルを提供するにつき、情報提供システム1では、データ処理装置11において、カードIDより個人ID、問い合わせ用IDが順次生成されて蓄積され、さらにリスト化により識別情報群としてサポートセンタ4に通知される。またサポートセンタ4からは、個々人の個人情報については、外部に漏らすことなく、統計処理される。これらによりこの情報提供システム1では、例えば第三者の盗聴、不正なアクセス等に対して、重要な個人情報の漏洩を有効に回避することができる。

【0030】(1-3)第1の実施の形態の効果
以上の構成によれば、ユーザーのクレジットカードより個人の識別情報であるカードIDを取得し、このカードIDによる個人IDを基準にしたデータベースのアクセスにより集団の属性を判定し、この判定結果により集団に適した情報を提供することにより、簡易かつ確実にユーザーに適した情報を提供することができる。またこのように統計処理した属性情報を基準にして情報を選択することにより、ユーザー個々人の個人情報の漏洩を防止することができる。

【0031】またこの識別情報を複数のユーザー分だけ蓄積して識別情報群として通知することにより、このようなカードID、個人IDの流出を防止ことができ、さらにはこれらの流出を防止することにより、最終的に、これらのIDを利用したデータベース5の改ざん等を防止し、さらに個人情報の漏洩を防止することができる。

【0032】(2)第2の実施の形態
図6は、本発明の第2の実施の形態に係る情報提供システムを示すブロック図である。この情報提供システム21において、図1について上述した情報提供システム1と同一の構成は、対応する符号を付して示し、重複した説明は省略する。

【0033】この情報提供システム21においては、映画館22側に代えて、サポートセンタ24側に広告データベース32が配置される。嗜好分析装置29は、第1の実施の形態に係る嗜好分析装置9と同様に、映画館22からの通知によりデータベース5をアクセスして個人情報取得し、この個人情報により属性情報を生成する。嗜好分析装置29は、この属性情報により広告データベース32をアクセスし、映画館2の入場者に最も適したコマーシャルを選択する。さらにこのようにして選

択したコマーシャルについて、ビデオデータによるファイルを映画館22にダウンロードする。

【0034】映画館22において、データ処理装置31は、第1の実施の形態に係るデータ処理装置11と同様に、入力装置10より得られるカードIDより顧客IDリストL1を作成して嗜好分析装置29に通知する。さらにデータ処理装置31は、この通知により嗜好分析装置29から得られるビデオデータによるファイルを保持し、このファイルの映像をユーザー3Aに提供する。

10 【0035】これによりこの実施の形態においては、広告データベース32をサポートセンタ24側で一括して管理し、その分映画館22側の構成を簡略化して、第1の実施の形態と同様の効果を得ることができるようになされている。

【0036】(3)第3の実施の形態

この実施の形態においては、広告データベース12、データ処理装置11、嗜好分析装置9の構成が異なる点を除いて、第1の実施の形態に係る情報提供装置と同一であることにより、図1を流用して説明する。なおこの実施の形態では、理解を容易にするため、構成は異なるものの、広告データベース12、データ処理装置11、嗜好分析装置9については、第1の実施の形態と同一の符号により説明する。

【0037】この実施の形態において、広告データベース12には、コマーシャルの映像に加えて、各コマーシャルの特徴を示す情報であるコマーシャルの対象ユーザー、商品や特定する情報等が各コマーシャル毎に記録される。

30 【0038】データ処理装置11は、第1の実施の形態の場合と同様に、入力装置10より得られるカードIDより顧客IDリストL1を作成して嗜好分析装置9に通知する。嗜好分析装置9は、このデータ処理装置11からの顧客IDリストによりデータベース5をアクセスして属性情報を検出し、属性情報を検出すると顧客IDリストの処理完了をデータ処理装置11に通知する。

【0039】データ処理装置11は、この処理の完了が通知されると、広告データベース12に記録されたコマーシャルの特徴を示す情報を順次嗜好分析装置9に通知する。嗜好分析装置9においては、このようにして送出されるコマーシャルの特徴を示す情報を属性情報により判定し、入場者に適したコマーシャルか否かの判定結果をデータ処理装置11に通知する。データ処理装置11においては、この通知により広告データベース12に記録されたコマーシャルを選択してユーザー3Aに提供する。

50 【0040】これらによりこの実施の形態では、対話形式によりデータ処理装置11と嗜好分析装置9との間でデータ交換して、嗜好分析装置9によりユーザーに適したコマーシャルを選択するようになされている。従って映画館2においては、必ずしも嗜好分析装置9、さらに

はデータ処理装置 11 に対応する形式により広告データベース 12 を構築しなくても、第 1 の実施の形態と同様の効果を得ることができ、その分、適用分野を種々の分野に拡大してこの種のサービスを提供することができる。また第 2 の実施の形態に比して、映画館オリジナルの広告を自由に展開することができ、さらには広告業務の外部への漏洩を防止することができる。

【0041】(4) 第 4 の実施の形態

この実施の形態においては、クレジットカード 7 のカード ID を基準にしたデータベース 5 の構築に代えて、非接触型 IC カードに記録された識別コードを基準にしてデータベースを構築する。さらにこの非接触型 IC カードの識別コードを映画館の入場時に読み取り、この読み取った識別コードにより属性情報を生成してコマmercialを選択する。

【0042】ここで非接触型 IC カードは、非接触によりアクセス可能にメモリを保持した平板形状の記録媒体であり、例えば定期券、部屋の入退出管理等に使用されるものである。これによりこの実施の形態では、識別コードにより年齢、性別等による個人情報を取得し、これらの情報により属性情報を生成する。

【0043】この実施の形態によれば、クレジットカード 7 のカード ID を基準にしたデータベース 5 の構築に代えて、非接触型 IC カードに記録された識別コードを基準にしてデータベースを構築し、属性情報を検出することにより、非接触型 IC カードの有するセキュリティの機能を有効に利用してシステム全体としてのセキュリティを向上し、第 1 の実施の形態と同様の効果を得ることができる。

【0044】(5) 他の実施の形態

なお上述の実施の形態においては、コマmercialの上映によりユーザーに情報を提供する場合について述べたが、本発明はこれに限らず、例えば看板等の広告による情報提供の場合等についても、広く適用することができる。

【0045】また上述の実施の形態においては、ユーザーがクレジットカードを使用しない場合には個人 ID を取得困難であることによりダミーの個人 ID を設定して処理する場合について述べたが、本発明はこれに限らず、例えば店舗等においては、サンプリングにより顧客

の情報を処理することが考えられることにより、このような場合にはこのようなダミーの個人 ID を設定する処理を省略するようにしてもよい。

【0046】また上述の実施の形態においては、コマmercialによる情報をユーザーに提供する場合について述べたが、本発明はこれに限らず、例えば天気予報、ニュース等、種々の情報を提供する場合に広く適用することができる。

【0047】また上述の実施の形態においては、映画館で情報を提供する場合について述べたが、本発明はこれに限らず、例えば電車内の宣伝広告、ニュース等の提供、さらには店舗における宣伝広告、各種イベントの案内等に広く適用することができる。

【0048】

【発明の効果】上述のように本発明によれば、ユーザーのカード等より個人の識別情報を取得し、この識別情報を基準にしたデータベースのアクセスにより集団の属性を判定し、この判定結果により集団に適した情報を提供することにより、例えば映画館等の施設において、ユーザーに適した情報を簡易かつ確実に提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の第 1 の実施の形態に係る情報提供システムを示すブロック図である。

【図 2】カード ID と個人 ID との関係を示す図表である。

【図 3】データベースの構成を示す図表である。

【図 4】カード ID、問い合わせ用 ID、顧客 ID リストとの関係を示す略線図である。

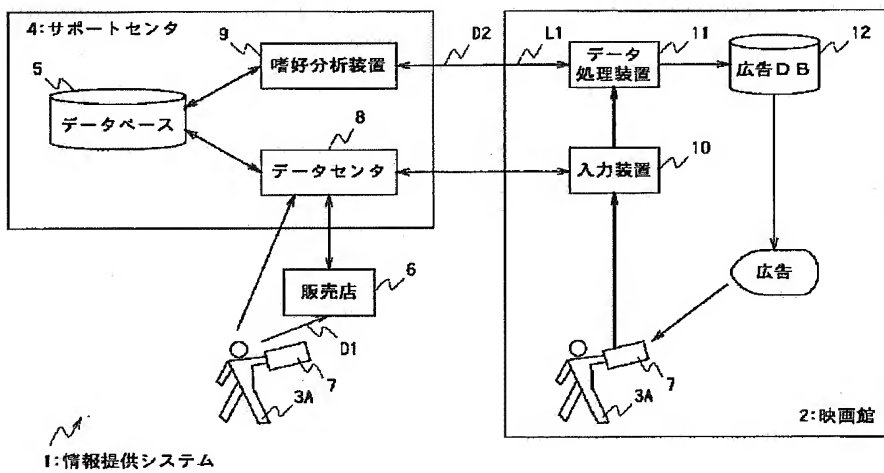
【図 5】顧客 ID リストの処理による個人 ID のリストを示す図表である。

【図 6】本発明の第 3 の実施の形態に係る情報提供システムを示すブロック図である。

【符号の説明】

1、21……情報提供システム、2、22……映画館、4、24……サポートセンタ、5……データベース、9、29……嗜好分析装置、10……入力装置、11、31……データ処理装置、12、31……広告データベース

【図 1】



【図 5】

No.	個人ID
1	+0GHF02fh21ds10hg1
2	/015dKNg12G12GREHg
3	d9fd80009NFHF0d/DG
4	gd156~/fdi6H++112/
...	...

【図 2】

カードID	個人ID
4573 1167 0015 9878	7GaKA57/v5B+4cbABf
4573 1167 0015 9879	gd156~/fdi6H++112/
4573 1167 0015 9880	XgB1bf9Kmgf0PP//fd
4573 1167 0015 9881	/015dKNg12G12GREHg
...	...

【図 3】

個人ID	車			旅行		-----
	新車	中古車	輸入車	国内	海外	
7GaKA57/v5B+4cbABf	12.50	1.05	0.33	4.73	12.05	-----
7GaKA57/v5B+4cbABg	1.71	15.72	1.08	0.07	13.32	-----
...

【図 4】

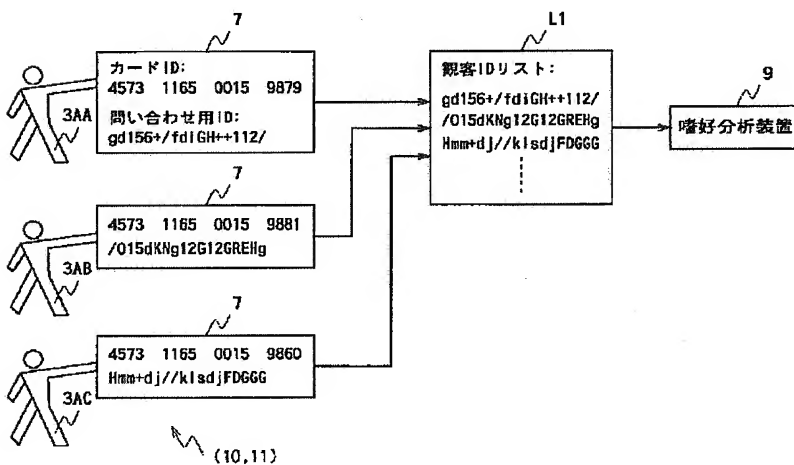


Figure 1 illustrates the architecture of an information provision system (21) and its connection to a movie theater (22). The system (21) includes a database (5), a data center (8), a preference analysis device (29), and an advertisement database (32). The movie theater (22) includes an input device (10), a data processing device (31), and an advertisement (11). The diagram shows the flow of data and information between these components, including the interaction of users (3A) with devices (7) and the distribution of advertisements (11) to the movie theater.

(51) Int. Cl. ⁷

識別記号

FI

テーマコート[®] (参考)

3 1 0 Z